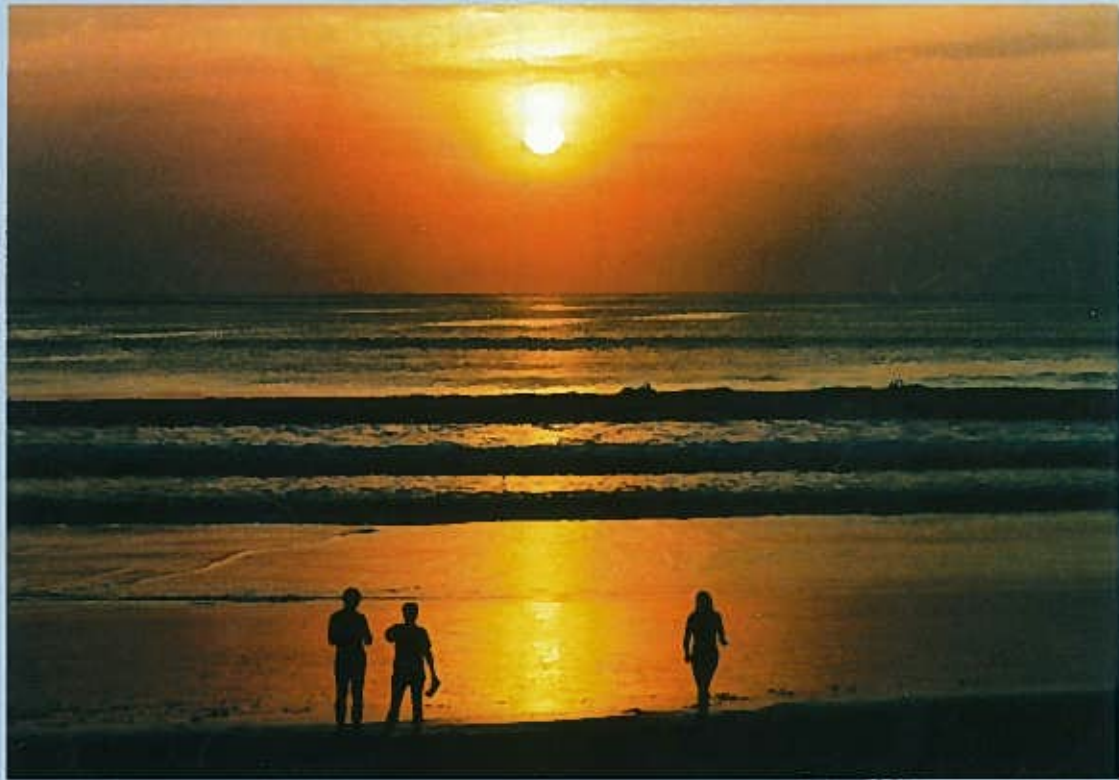


～男女共同参画社会の実現に向けて～

モア MORE

さって ひと ひと
幸手市女と男の情報紙
第2号 '97



題「南海の夕陽」長谷川良内（市内南2丁目在住）

私の宝箱

だれにでも
心の中に宝箱がある。
私の宝箱は、宝物でいっぱい。

宝箱は：「思い出」

小学校六年間

楽しかった。

辛かった。

おもしろかった。

悲しかった。

宝箱は：「夢」

だれにも言えないけど私だけの夢がある。
夢を宝箱の中で育ててきた。

入学した時

木枯らしの日の青空のように透き通って

宝箱の中はからっぽだった。

中学生になる今年

しまえきれない思い出と

大きく育った夢で

私の宝箱はあふれてしまう。

宝箱の思い出を踏み台に

宝箱の夢は大空へはばたく日を待っている。

権現堂川小学校

六年 宮沢美穂

（平成九年二月現在）

「人生」と言うとちょっと大げさですが、市民の皆さんに、イキイキ生活していますか？日頃人生について考えていることはありますか？性別で不満に思っていることはありますか？など、思ったことをなんでもかんでも書いてもらいました。



Hさん 47歳 男性 会社員
妻・子供2人

私にとって「走る」ということが一番の関心事である。というのも、かつてフルマラソンを走り終えた時、そのときまで自分自身が納得のいく汗を流した事が無いことを痛感したからだ。そして、その経験者のみぞ知る爽快感、満足感を妻や子供たちとも分かち合おうと、半ば強制的に家族をジョギングコースに連れ出し始めて2年になる。真っ赤な夕日を追いかけながら、澄んだ寒空の星を眺めながら、いつからか走るという事が我が家の日課となり、コミュニケーションの時間にもなった。

最近では、家族でレースに参加するようになり、息子や妻の走っている姿を見ると、人目にも気にせず大声で応援し、ゴールまで一緒に走ってしまう。また、私が走る時には「お父さん頑張れ」という大声が耳に入り、とても力づけられる。家族の期待と声援を受けながら走っている自分は、とても幸せだと思う。

これからも、私の走る姿を通して、息子達に最後まで諦めず頑張り通すことを伝えていきたい。

Fさん 49歳 女性 パート勤務
夫・子供2人

1歳の時に、肺炎で死に損なって以来、死んだ母は私に「おまけの人生」と言っていました。

「不運」はその時に、死神と一緒に飛んで行ってしまったのか、今のところイヤな事はありません。

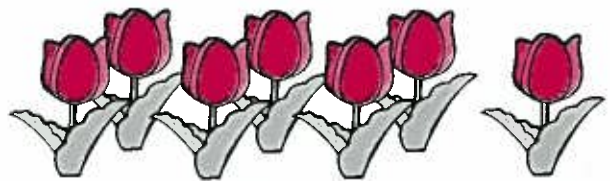
仕事では、昔からの仲間がいて、家では夫や娘たちの協力があり、忙しくても苦になりません。また、仕事を始めた長女の「愚痴」をしっかり聞いてあげられるのも、現役で働いているからかもしれません。

何事も前向きに明るく考えることをモットーとして人生を送っています。

Gさん 40歳 女性

老後について考えると、「健康」という言葉を想像します。私は、健康でいられるために今から食生活に気を付けて生活しています。

また、体の健康と共に、心の健康のために、充実した人間関係を作り、熟年期が楽しく過ごせるように、今から積極的に地域活動に参加するよう心掛けています。



今回登場していただいた皆さんは、「健康」について気にしている方が多いですね。

Gさんのように、健康には、身体の健康と心の健康があり、一般的には身体の健康を思い浮かべる方が多いと思います。心の健康と言っても、なかなか難しいと思いますが、Hさんのように「幸せ」と思えるものを持つている人や、Dさんのように、相手を思いやる気持ちを持っている人が、健康と言えるのではないのでしょうか。

Cさん、今回登場して頂いた方のように心豊かな人も多いと思いますよ。

相手を思いやる優しい気持ちで、「幸せ」を感じる趣味を見つけて大すき人生・イキイキ人生を楽しみたいですね。

【募集】

家庭の中や会社・地域で性別などで不満を持ったことはありませんか。今後も市民の皆様からの投書を募集いたしますので、お手紙お待ちしております。(市役所庶務課まで)



Aさん 58歳 男性 農業
妻・子供一人・母

ふと気がつくともうすこしで還暦。世上男は社会で、人間関係だの、仕事の辛さ、責任の重さだのに苦しめられて、家庭に帰ると女房には、疲れたの大変だのと聞かされるから黙って耐えるつらい役目だと言われる。もちろん、職業によろうが、妻が働いている場合はなおさらである。

でもこの年になって、思い起こしてみると、「そうじゃなかったんだ」って私はつくづく思っている。「俺は妻が家にいたから安心して男らしく生きてこれたんだ。妻の愚痴を聞くことも辛いと思うから辛かったの、我が家の妻の役割は、割りに合わず、さぞ辛かっただろう。」と思えてくる。

だから今、女性は各界各所に進出して、胸を張って生きて行って貰いたい。そのためにも、これからの男達は半分位は割に合わないこともしなくてはならないのかな。そうすると男はつらいよきっと。

Bさん 40歳 男性

今は毎日忙しい生活を送っていますが、定年を迎えた時には、のんびり好きな土いじりをして過ごしたいと思っています。

野菜や果物を大事に育てて収穫し、ご近所に配り歩けるよう日々夢見ながら、定年を健康で迎えられるよう願っています。

Cさん 40歳 男性

戦前は、道徳的な教育が、学校はもちろん、社会にも長幼の序、いたわりあい、忍耐、助け合い等がありました。

今では自由の履き違いから、皆エゴに走り、自分たち家族の幸せは追求するが、夫の両親を始めから嫌う。近隣との交流はなく、我が子の成績向上のため塾通いに熱中する。など、心のゆとりが失われているように思えます。

もっとおおらかに、人生の幸せは成績ではなく、広く友達や高齢者などと、仲良く交流してこそ、将来の幸せがあるように思います。



Dさん 82歳 男性
妻77歳・息子夫婦・孫2人

結婚してから50年たちます。知り合いの方から「夫婦円満の秘訣はなんですか」と良く聞かれますが、「何もありませんが、しいて言えば、健康で過ごせ、妻が家庭を守ってくれたことと、お互いの長所・短所を相補ってきた事です」と答えている。

健康については、特に難しいことをしているわけではなく、当たり前のことですが、朝6時の起床と夜9時に寝るという規則正しい生活、好き嫌いのない食事、夫婦とも趣味を持っていることです。

家庭生活でお互いの長所・短所を相補うということは、今の若い人にはわかってもらえないかもしれませんが、ものの見方や考え方の違う者同志が、一緒に暮らすのですから、相手を思いやる愛情がなければ成り立ちません。まあ、私の場合は結婚してから愛情が沸いてきたのですが…。

Eさん 30歳 女性 会社員

私は、日頃、若い人の食生活を心配しています。今の高齢者の方々は、若いころ割合質素なもので、魚・豆類・野菜、たまに肉を食べ、大切な栄養素を充分に取りながらも低カロリーの生活で、交通機関も自転車や歩きながら自然のうちに体を動かしてきたと思います。

しかし、今の10代、20代の方は、加工食品・レトルト食品を多く食べ、塩分・油分を取りすぎていると思います。

女性は、次世代を担う子供を生むという重要な役割をもっていますが、このような食生活や、最近目立つ喫煙も心配です。子供を生む大切な体づくりが出来るよう、お母さん方も配慮してよく人生づくりを。

女性問題講演会

埼玉県副知事 坂東眞理子氏を迎えて



平成8年5月15日、北公民館において埼玉県初の女性副知事坂東眞理子氏を迎えて女性問題講演会を開催しました。

「女と男 高齢化社会に向けて」と題して、これからは年代・性別を越えて、女・男共に認め合い、常に社会を支える心構えを持ち、感謝の気持ちを失わず、明るく豊かな社会を創っていく事が大事であると訴え、参加された方も頷きながら聞き入っていました。

女と男の共生セミナー



平成9年1月16日・24日・2月1日の3日間、図書館において「女と男の共生セミナー」を開催しました。

第1回は、女流講師師室井琴桜さんによる「女と男すてきな関係」と題して、講演を行いました。その中で、たった1度の人生だから男女ではなく、一人の人として仕事、子育て、趣味、地域活動と幅広く携わり、思いやりの気持ちを生かせる世の中を共に創りましょうと、講談を交えてユーモア一杯に話されました。

第2回は、映画「フライド・グリーン・トマト」を上映しました。差別問題や更年期を迎えた夫婦のあり方、また友情の尊さと共に、味わい深い映画でした。

第3回は、文教大学教授佐藤啓子さんによる「家庭の中の男女共生」と題しての講演を行いました。歴史の中の女性観、労働観を解りやすく話され、女性も男性も共に伸びていくにはコミュニケーションが大切であり、自分の人生は自分自身が背負っていることを自覚し、より良い社会の実現に向けて努力していかなくてはと力説されました。各回約70名の参加者からは「講師の話は解りやすかった」という意見が多く寄せられ、好評のうち終了しました。

今後も、女性の古い慣習や偏見を解消するため、講演会やセミナーを実施いたしますのでぜひご参加ください。



日本女性会議 '96うつのみや に参加

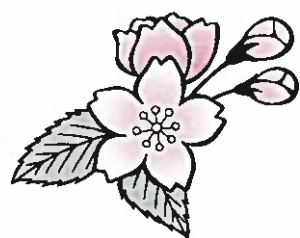
平成8年10月14～16日の3日間、女性問題に関する全国会議としてその成果が注目された日本女性会議が、栃木県宇都宮市において開催され、幸手市女性問題協議会委員10名と事務局2名の合計12名で15・16日の2日間参加しました。

2日目は、8の分科会のうち、第一分科会「家庭の中の女と男」をテーマとしてパネルディスカッションに参加しました。

パネラーより、家庭の中の男と女の役割が多様化している今こそお互いに感謝の気持ちを忘れず接する事が大事だという意見に、大きな拍手が起こっていました。

3日目は英国前首相マーガレット・サッチャー女史を迎えての「世界と日本」と題しての記念講演がありました。「鉄の女」と呼ばれているサッチャー女史も間近でみると、知性と共に女性としての魅力も充分兼ね備えたすばらしい女性でした。講演の中で「性別に捉われず、能力に応じて活躍する事が大切である。」と訴え、会場からも賛同の拍手を浴びていました。

しかし、質疑応答の場面では、司会役も自らテキパキとこなし、「鉄の女」の一端も垣間見たように思いました。



輝きコーナー

わが家の場合



「今の生活はいかがですか」
 威市さん タケさん・長生き
 して本当によかったで
 すよ。今は曾孫とゆっ
 くり時間を過ごせるの
 で、可愛さもひとしお
 です。
 「三世代を仲良く暮ら
 す秘訣は」
 勝子さん・秘訣なんか
 ないですよ。嫁も我が
 嫁も同じ自然体で生活
 することが一番です。
 佳美さん・私はいつも

お母さんに甘えているん
 ですよ。お夕飯まで作って
 もらってそれに敬語を使わ
 ないで済むので楽なんです。
 今回取材して、靖之さん
 は、「しいちゃん・ばあちゃん
 には、大輝がお嫁さんをも
 らうまで長生きしてもらい、
 四世代同居家族ということ
 で、また取材に来てくださ
 い」と、優しさで励まし
 の言葉を頂きました。皆
 さん温かい人柄で、笑
 顔の素敵な輝き。一家
 でした。



北海道・東北・
 関東甲信越地区
 男女共同参画推進
 地域会議に参加

平成8年9月13日、北海道・東北・関
 東甲信越地区男女共同参画推進地域会議
 が北海道札幌市の札幌市民会館で開催
 され、幸手市女性問題協議会の竹内会長、
 綾田委員と事務局の3名で参加しました。

「女性が男性と共に創り上げる社会を
 目指して」をテーマに、評論家で東京家
 政大学教授の樋口恵子さんと、作家で精
 神科医のなだいなださんのトークin
 トーク。続いて、北海道女性プラザ館長の
 岡田淳子さんをコーディネーターとして行
 われたパネルディスカッションが行われ
 ました。

パネルディスカッションでは、古くか
 らの慣習にとられる事なく、また男・
 女ではなく、1人の人間として、自らの
 人生を主体的に選択し、個性を伸ばしつ
 つ、育児も介護も社会労働も互いに助け
 合い、思いやりを持って住みやすい社会
 を創ろうと熱く話し合われました。

ときめき 感動のとき

「血のつながり」

今は亡き夫が生死の境をさ
 まよったあげく、ちよつと落
 ちつき皆がほつとしていたあ
 る日、ある所の事務員さんか
 ら電話がありました。それは
 18年間も行方不明になってい
 た夫の弟が、そこにいるとの
 ことでした。皆に心配をかけ
 迷惑をかけた身なので自分か
 らは電話はかけられないの
 で、頼んだとのことでした。
 夫の容態を知らせると早速次
 の日駆けつけてきました。
 今までの音信不通だった人
 がなぜ…と思っていました。
 私が話を聞いて驚きました。

私の家に電話をかける何日
 か前、テレビで東武動物公園
 駅が放映されたのを見たそう
 です。でもその時は別に何も
 思わなかったが、次に日にな
 って、どうしたことか何をし
 ても落ちつかず、手につかず、
 放心状態で困り果て、事務員

さんに電話をかけてもらった
 とのことでした。その胸騒ぎ
 の時が夫の危篤状態だった時
 だったのです。久しぶりに逢
 った2人、「迷惑をかけてご
 めんなさい。」と泣きながら
 謝る弟を、虫の息で見つめる
 夫の目にも涙が流れました。
 やつと安心したのでしょ
 うかそれから2日後息をひきと
 りました。
 切ることでできない血のつ
 ながりの不思議さ、大切さを
 味わった我が家の出来事
 でした。



外国生まれの幸手市民

日本とも馴染みの深いインドより来日して16年になるラルハミングリアニ・鈴木さんを訪ねてみました。

〈幸手市の印象は〉

福島に1年、越谷市蒲生に5年程住んでいましたが、長男のぜんそく治療のため、空気の良い所と言うことで、お医者さんに勧められて幸手に来ました。

近くにスーパー、病院、学校も有りとても便利です。子供たちが通う幼稚園も近く、近所の方とも交流が出来て、楽しく暮らしています。



〈ご家族は〉

インドで同じ大学で知り合い結婚した主人と、小学校6年の長男、小学校4年の二男、4歳の長女の5人家族です。

〈インドでは家事は女性の役割ですか〉

インドの男性は、一切の家事仕事はもちろん、台所にも入りません。

〈男女共生社会に一言〉

インドの家庭では、男性中心社会であり、すべての権限はその家の主人であり、女性はあくまでも主人の下で働き、自分の意志は言わないです。子供のしつけや教育についても主人の言う通りであり、子供たちも従います。

現在は、少しずつではありますが、女性も権利・主張をするようになりました。わが家では、子供のしつけや教育など、すべて夫婦で協力してやっています。

残ったビールを無駄なく使う



ビールが残ってしまったら料理に使いましょう。
 まず、新しいぬか床を作った時は、ビールを入れるようにします。早くなれますし、おいしくなれます。
 また、肉のビール煮、肉のビール漬け、あるいは、すきやきの時の水代わりにします。さらに髪の毛の質が固くてごわごわしている人は、シャンプーの時にちょっと使うと柔らかくなります。ただし、多すぎると髪の毛が変色しますからご用心。



新茶の出がらしを食べる



新茶の出がらしを煮つけてみましょう。
 新茶の出がらしは、その都度、良く水気を切ってポリ袋に入れて冷蔵庫に保存します。少しまとまったら、醤油・みりん・酒で好みの味付けした煮汁に、出がらしの新茶を入れます。中火にかけ煮立ったら火を弱め、5～6分煮立てて出来上がり。新茶の色と香が決め手。薄味、薄色が美味しさの秘訣です。

● 編 ● 集 ● 後 ● 記 ●

〈楽しみは〉
 現在は、子育て中心の生活ですが、手が離れたら日本についての勉強、習い事などしてみたいですね。

女性行政を担当して、あっという間に1年が過ぎてしまいました。

ついて判りやすくご指導を頂き、なんとかこの情報紙も発行できるようになりました。

【取材の日は、中央公民館で七宝焼にチャレンジしていたラルハミングリアニさん。とても上手な日本語で、エネルギーに明るく語って下さいました。】

社会的に弱い立場に置かれている女性についての問題や課題など、1年前までは、正直言って無関心でしたが、女性問題協議会の委員の皆様や他市町村の担当者の方や、研修などに参加し、この問題に

この情報紙は、女性の方は勿論のこと、1年前の私のような無関心の男性の方にも是非読んで頂き、女性の問題は女性だけではなく、男性も一緒に考えていけたらよいと思います。